

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



秋に施肥する理由



- 施肥は作物生育に**必要な養分**を肥料として**外部から補給**するために行うので、生育の直前に行えば良いだろうと考える方が多いと思います。
- 実際に野菜などの施肥は早くても播種や定植の1ヵ月前以内に行います。
- しかし、モモでは開花期の5ヶ月前の**前年11月**に施肥を行います。
- この理由は、地表面に撒かれた肥料が溶け出し、窒素などの養分として**根の分布域**に達して**初期成育を良好**にするには時間がかかるためです。
- モモ用の肥料は**有機物主体**なので、一層の分解時間が必要です。
- なお、**積雪地帯**では秋に施肥を行うと雪解け水により**肥料分が流され**やすくなるので、秋から**雪解け後の春**に施肥量のウェイトを移します。

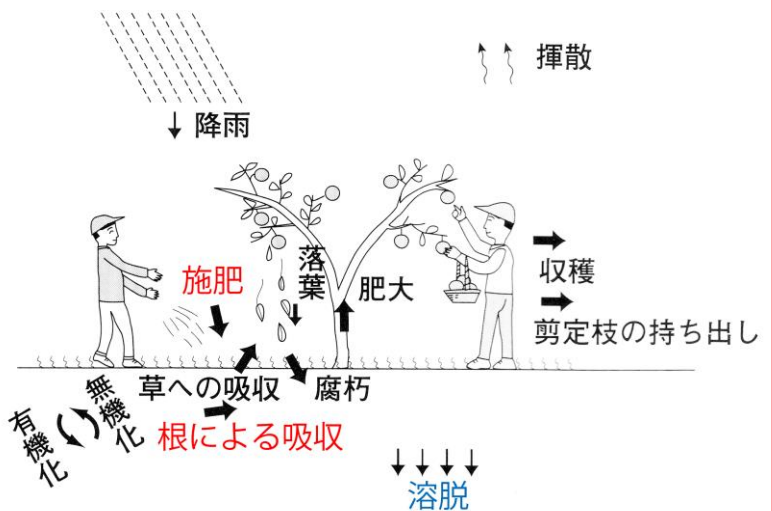


図 モモ園における窒素の動き
(「桃の郷から」山梨県果樹園芸会)



モモアレルギー



- 食物を食べると**口の中のかゆみ**、**唇の腫れ**などの症状を発する**食物アレルギー**が増えているようです。鶏卵や牛乳で多いのですが果物、特にモモでも発症を聞きます。
- これは果実に含まれるアレルギーを起こすタンパク質(**アレルゲン**)が原因です。
- シラカバやハンノキで**花粉症**になる人は、モモやリンゴでアレルギーを起こしやすいと言われています(表)。
- 稀に**モモアレルギー**を持つモモ栽培農家に出会います。
- 御自身は食べられませんがその分、冷静に栽培管理に徹して**高品質モモ生産を実現**されています。

表 花粉症との関連が報告されている果物アレルギー	
花粉症	果物アレルギー
シラカバ、ハンノキ (カバノキ科)	モモ、リンゴ、オウトウ(バラ科) キウイフルーツ(マタタビ科)、マンゴー(ウルシ科)
カモガヤ(イネ科)	スイカ、メロン(ウリ科)、オレンジ(ミカン科)、キウイフルーツ(マタタビ科)
ヨモギ(キク科)	マンゴー(ウルシ科)
ブタクサ(キク科)	スイカ、メロン(ウリ科)、バナナ(バショウ科)